

伊財財経第 271-2 号

平成 26 年 11 月 4 日

伊丹市行財政審議会

会長 松尾 貴巳 様

伊丹市長 藤原 保幸

行財政運営のあり方及び公共施設の有効活用等について（諮問）

本市は、平成 23 年度から平成 27 年度までを計画期間とする「伊丹市行財政プラン」の着実な実施により、計画期間内の収支不足解消に努め、行財政運営の健全化を推進しているところです。

その結果、計画期間内の収支不足は解消できる見込みであり、今後数年間においても大幅な収支不足は生じない可能性が高い状況となっております。

しかしながら、将来的には生産年齢人口の減少により税収が伸び悩む一方で、少子高齢化に伴う社会保障関係経費の増加や、公共施設等にかかる多額の更新費用等が見込まれており、厳しい財政運営が予想されます。

こうした状況を受けて、市内の公共施設等の総量削減も踏まえた適切な公共施設マネジメントの着実な実施が必要であると考えています。また、将来の収支不足額を把握し、本市の行財政運営を持続可能なものとするための取り組みを検討する必要があります。

以上のことから、本市における行財政運営及び公共施設等のあり方について、今後の方針を定めるため、下記のとおり諮問します。

記

- 諮問事項
1. 「行財政運営のあり方について」
 2. 「公共施設の有効活用等について」

以上